

次号予告

特集 大域的最適化

- 基礎となる算法山本 芳嗣 (筑波大学)
非凸計画問題≠解けない問題—分枝限定法による大域的最適化—久野 誉人 (筑波大学)
非凸2次計画問題と組合せ最適化矢島 安敏 (東京工業大学)
大域的最適化—資産運用問題への応用を中心に—今野 浩 (東京工業大学)
D. C. optimization in robust control synthesis
.....Hoang Duong Tuan, 細江 繁幸(名古屋大学), P. Apkavian(ONERA-CERT)

編集後記

●1999年も早3ヵ月が経ちました。あつと言う間に21世紀を迎えそうです。コンピュータ関係では、国を挙げて2000年問題に取り組んでいます。何せ初めての経験なので大騒ぎです。最近ではすべての物にコンピュータが使われていると言っても過言ではありません。1つ1つ検証をするのに大変な量を費やしていますが、100%完全とは誰も言い切れないのではないのでしょうか。これからは危機管理プログラムの整備が重要となってくるでしょう。

●今月の特集は、「地球環境問題、わが国の戦略」です。最近ゴミ焼却場付近からのダイオキシンの問題がクローズアップされています。また、産業廃棄物処理場を巡るトラブルがニュースに上っています。企業においては地球環境の保護を実現すべくISO14000の取り組みが進んでいます。二酸化炭素の削減を図るうえ

でも、リサイクルをもっと積極的にしていく必要があります。このためには1人1人の自覚と努力が重要ではないでしょうか。

●最近、SCM：サプライチェーンマネジメントのキーワードが盛んです。米国の製造業の復権の証として、2年前から日本に紹介され出しました。今年の大企業のトップの新年の言葉にもたくさん出てきています。データウェアハウスでのDM：データマイニングが統計解析手法の再来であるのに対し、SCMはスケジューリング手法の再来にあたります。最近ではORのノウハウを持ったコンサルタントが非常に重要となると言われています。30年前と同じような一時のブームで終わりにならないよう、ORに携わる人間の1人として現実への適用を推進していきたいと考えています。6月号でSCM特集を企画していますので、ご期待ください。(宮崎知明)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 大山達雄(政策研究大学院大学) 副委員長 田口 東(中央大学)

委員 葛山康典(早稲田大学), 栗田治(慶応義塾大学), 笹山晋一(東京ガス株), 猿渡康文(筑波大学), 椎名孝之(財電力中央研究所), 繁野麻衣子(筑波大学), 清水康司(青山学院大学), 外嶋成留(住友金属工業株), 田中宏和(神奈川工科大学), 田村明久(電気通信大学), 原 裕淳(株東芝), 宮崎知明(富士通株), 山下英明(東北大学), 吉野秀明(日本電信電話株)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成11年4月号 第44巻 第4号 通巻460号

代表者 水野 幸男

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

編集人 大山達雄

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円 (本体924円) 年間予約購読料11,040円 (税込)

●本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337), 日経弘報社 (3563-2241) へ